



平成22年12月17日

環境数理学科における外部評価

<概要>

環境理工学部環境数理学科で2年前から実施している教育システムの外部評価について報告する。JABEEなどの第三者機関ではなく独自の外部評価を実施するに至った経緯、2008年度および2009年度における実施状況、さらには、外部評価の実施方法の詳細について報告する。さらに学士力、JABEEによる評価などとの比較、関連についても報告する予定である。

<本文>

- ・環境理工学部環境数理学科では、教育改善のため、2008年度から、外部評価委員を招聘して教育システムについての独自の外部評価を開始しました。2009年度も実施し、2010年度についても、今年度中に実施する予定です。2008年度の外部評価実施報告書はすでに作成しています。
- ・教育システムの外部評価としては以前から工学を対象としたJABEEがあり、環境数理学科もJABEEについて検討してきましたが、分野的な問題もあり現在は別の方向を模索しています。
- ・すでに実施した2回については、多様な分野にわたる3名から4名の外部評価委員に評価を依頼し、3月に環境数理学科に集まって学部便覧、専門教育科目のシラバスなどの資料、および担当教員から提出された各授業の資料を閲覧の上教育システムの評価を行っていただきました。
- ・各評価委員に、学科教育の改善への提言、カリキュラムの評価、授業資料保存の評価、各授業の評価、以前の外部評価への対応の評価などの項目ごとに評価票を作成していただきます。それに対して学科全体への提言については学科で対応を審議します。その過程で学科の教育についての反省と改善策の立案を行います。個々の授業への提言については担当教員が対応を書きますが、その過程で授業を見つめなおします。対応は報告書に記載するとともに、また次年度に外部評価委員の評価を受けることとなります。
- ・以上ご紹介した教育システムの外部評価を通じて、環境数理学科では教育のレベルアップをめざすとともに、学生がきちんと学力を身につけていることも併せて示そうと考えています。

<お問い合わせ>

岡山大学 大学院環境学研究科・梶原 毅

(電話番号) 086-251-8828

(FAX番号) 086-251-8837